

# 決算審査特別委員会

委員長 小川 智之  
副委員長 山本 直史

## 平成26年度一般会計の前年度からの増減

前年度からの増減 ( ) 内は主な増減の内容

- 歳入**
- 市税…………… 28億 7,500万円増 1.7% ↑  
(家屋の新増築等による固定資産税の増、企業収益の改善による法人市民税の増)
  - 使用料・手数料…………… 7億 6,600万円増 9.6% ↑  
(指定ごみ袋の販売月数の増による家庭ごみ処理手数料の増)
  - 繰入金…………… 13億 500万円増 44.3% ↑  
(財政調整基金からの繰入金による増)
  - 財産収入…………… 16億 900万円増 90.2% ↑  
(土地売却収入の増)

- 歳出**
- 民生費…………… 86億 6,000万円増 6.7% ↑  
(臨時福祉給付金支給事業費の増、子育て世帯臨時特例給付金支給事業費の増)
  - 土木費…………… 31億 4,700万円増 7.5% ↑  
(東日本大震災復興交付金基金積立金の増、事業の進捗に伴う宮野木町第1団地第二期建替事業費の増)
  - 衛生費…………… 34億 7,100万円増 12.9% ↑  
(病院事業への出資金の増、リサイクル等推進基金への積立金の増)
  - 総務費…………… 9億 7,000万円減 3.1% ↓  
(退職手当支給月数の見直しによる減)

## 分科会での主な質疑をご紹介します。

### 総務分科会

(所管) 総務局・総合政策局・財政局・会計室・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・議会

#### 歳入確保の取り組みは

**問** 厳しい財政状況が見込まれているが、市税などの歳入確保へむけた取り組みは。

**答** 市税納付については利便性向上のため、平成28年度よりクレジット納付の導入を予定している。また、「ふるさと応援寄附金」として、一定額以上の寄附者の方に、公共施設のバックヤード見学や花火大会観覧チケットなどのお礼をし、受け入れの拡大を図っている。



千葉市動物公園バックヤード見学実施中

#### いち早く災害情報を伝える取り組みは

**問** 防災対策として、防災行政無線のほかに市民に災害情報を伝える手段は。

**答** ちばし安全・安心メールやツイッターなど、さまざまなツールで情報を一括して配信するシステムを整えたほか、4月から県の防災システムに災害情報を流し、テレビやラジオなどで市の情報を確認できるシステムを運用している。

#### 都市アイデンティティの確立は

**問** 都市アイデンティティの確立に向けた取り組みは。

**答** 都市アイデンティティ確立に向けて、本市ならではの魅力や独自性を活かして、市民の誇りや愛着を醸成し、「千葉らしさ」を定着させるため、本市の歴史やルーツに根差した「千葉氏」「加曽利貝塚」「オオガハス」「海辺」の4つの地域資源を活用して、一貫性をもって市内外へアピールしていく。

### 保健消防分科会

(所管) 保健福祉局・消防局・病院局

#### 民生委員の負担軽減と担い手不足解消は

**問** 民生委員の負担の大きさや担い手不足に対する取り組みは。

**答** 民生委員の支援の対象は、時代の経過により生活困窮者から高齢者や児童に変化しており、特に高齢者への支援が大きくなっている。昨年度より民生委員協力員制度を創設し、協力員が配置された民生委員からは、負担が軽減されたという報告があり、今後も制度の周知などを図っていきたい。

#### 救急・消防需要に対する取り組みは

**問** 救急業務にタブレットを活用した救急搬送情報をリアルタイムで共有できるシステムを取り入れた成果は。

**答** タブレットを取り入れたことにより、中等症以上の方は現場到着から病院到着までの時間を1.8分短縮できたが、全体としては短縮時間は0.4分となっており、さらなる時間の短縮が喫緊の課題となっている。



タブレットで救急情報を入力する隊員

### 環境経済分科会

(所管) 市民局・環境局・経済農政局・農業委員会

#### ちばレポへの参加者を増やすための取り組みは

**問** 地域課題解決ソリューション(ちばレポ)の運営にあたっては、平成25年第4回定例会の附帯決議※において、財政負担の軽減へ取り組むほか、多くの市民や多様な主体が参加できるよう申し入れたが、その取り組みは。

**答** 当面の参加目標を3年後で約5,000人とし、現時点で目標の約6割の参加人数となっており、これまで比較的市政に関与することがなかった層の方々が参加している。また、現在市内企業12者と連携協定を結ぶなど、多様な主体が参加している。



ちばレポの操作画面

※附帯決議：可決した議案に対して、議会の意思を表明するものとして行う決議。法的な拘束力はないが、市はこれを尊重することが求められる。

#### 市内経済の振興は

**問** 市内経済の振興に向けた取り組みは。

**答** 個々の事業者からの相談内容をいかに実現させるか、商店街や商店の前向きな気持ちを支援していくかが課題となっている。さらに、今後は地域内の大学との連携、中央港の旅客船さん橋のPR、幕張新都心の魅力向上など、より一層の活性化に努めていきたい。

### 教育未来分科会

(所管) こども未来局・教育委員会

#### ひとり親家庭への支援は

**問** 子育て中のひとり親家庭に対する支援とその周知方法は。

**答** ひとり親家庭を対象に就業相談や経済的な支援などを行っており、市政だよりやホームページへの掲載のほか、区役所の窓口では、その家庭に合った支援を総合的に案内できるような体制を取っている。また、昼間に窓口に来られない方にも配慮し、平日の夜や休日にも電話相談を行っている。



窓口での相談風景

#### いじめに関する対策は

**問** 市のいじめに関する対応と現場の教職員へのメンタルヘルスは。

**答** 「いじめ等の対策及び調査委員会」を設け、いじめ防止基本方針の審議などを行っている。また、現場の教職員のメンタルヘルスの取り組みとしては、「教職員ヘルシーシステム」として、カウンセラーなどによるメンタルヘルス研修や巡回訪問などに取り組んでいる。

### 都市建設分科会

(所管) 都市局・建設局・水道局

#### JR京葉線とりんかい線の直通運転の促進は

**問** JR京葉線とりんかい線の直通運転に向けけた取り組みは。

**答** 調査結果から、新木場駅での乗り換えにおいて、朝夕の混雑などが課題となっていることがわかった。直通運転を実現させることで、乗り換えの乗客が減ることによる新木場駅の混雑解消や利便性の向上が期待できるが、りんかい線の運賃がJRよりも高いことも課題となっていることから、料金値下げも含めて鉄道事業者と協議を行っていきたい。

#### 道路の補修に関する対応は

**問** ちばレポの登録者増により、道路の修繕などの様々な要望が増加したと思われるが、その状況は。また、予算、人員の十分な確保は。

**答** 平成26年9月よりちばレポを開始し、26年度は半年で道路に関する要望が716件あり、7月末現在で9割が対処済みとなっている。道路の維持補修などは市民の安心・安全を守るためにも、十分な予算や人員を確保していきたい。



道路補修作業の様子